

諮 問 資 料

《 第三次実施計画の策定について 》

1 市川市総合計画について（現状）

総合計画は、社会経済情勢の変化や人口の見通し、市民意識などを踏まえた長期的な将来展望に基づいて、市政運営を総合的・計画的に進めるための根幹となる計画であり、行政の各分野における計画や事業展開の指針となると同時に、市民と行政の将来目標となるものです。

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。

**（１）基本構想（概ね 25 年）**

基本構想は、平成 13 年から 37 年（概ね 25 年間）を計画期間とし、「人間尊重」「自然との共生」「協働による創造」を基本理念のもと、『ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ』を目指すべき将来都市像としています。

（２）基本計画（第二次基本計画・10 年）

基本計画は、基本構想に掲げられた将来都市像を実現するための市の施策を定めたもの。第二次基本計画は、文化、環境、教育など 10 の視点を意識した施策展開により『安心で 快適な 活力のある まちへ』を平成 23 年度から 32 年度までの 10 年間のまちづくりの目標を定めています。

（３）実施計画（第二次実施計画・3 年）

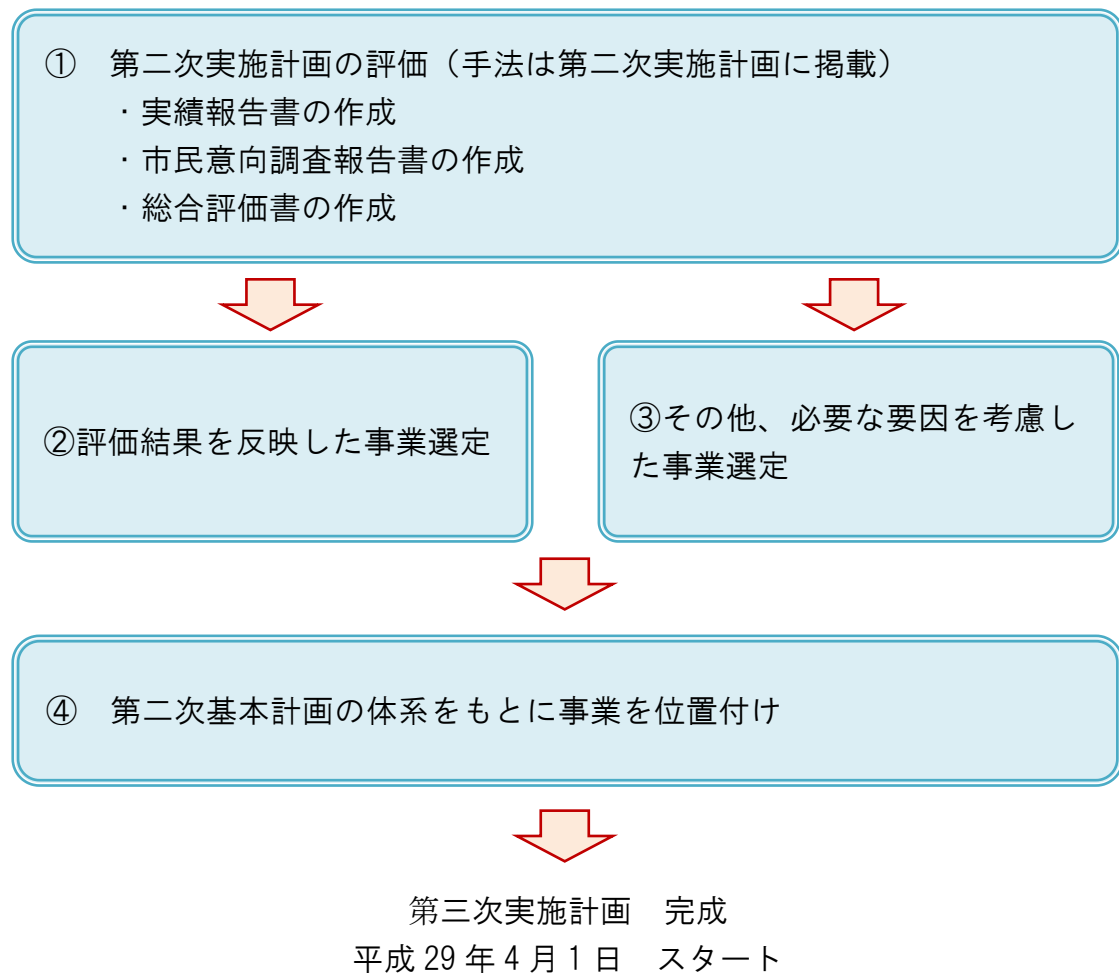
基本計画に示された施策を実現するための具体的な事業を定めたもの。

○計画期間は、平成 26 年度（2014）～28 年度（2016）の 3 年間

○基本計画の体系をもとに、少子高齢化や生産年齢人口の減少への対策、美しい景観など、都市の魅力向上に向けた 79 事業を位置付け

○実施計画事業ごとの達成度を図るため、数値目標等を設定

2 第三次実施計画策定の流れ（案）



3 第二次実施計画の評価（第三次実施計画策定に向けた作業内容）

（第二次実施計画P107 掲載）

1）実績報告書の作成

（1）期 間 3 年ごと（実施計画期間終了時）

（2）作成方法

①3 年間の事業費、事業内容、指標をまとめる

②庁内の自己評価（指標の達成度をもとにした 4 段階評価）を実施

☐十分達成できた ☐概ね達成できた ☐やや不十分だった ☐不十分だった

③事業を実施した結果、施策の目的をどう推進できたかを理由として明記

■実績報告書

- ・実施計画 79 事業に関する評価
- ・事業費比較と数値目標比較（アウトプット）
- ・達成状況の 4 段階評価（＝数値目標比較を 4 段階にしたもの）

2) 市民意向調査報告書の作成

(1) 期 間 3 年ごと (実施計画期間終了時)

(2) 作成方法

①『実績報告書』を同封した市民アンケート (無作為抽出 3,000 人) を実施

②市民アンケートにより、基本計画の 45 施策の大分類で評価

Q 施策に満足しているか? ☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

③市民アンケート結果を踏まえ、5 本の基本目標を評価

■ 市民意向調査報告書

- ・ アンケートにより市民が評価
- ・ 基本計画の 45 施策の大分類ごとの満足度
- ・ 実施計画 79 事業の感じ方 (質・量が期待以上、期待通り、足りない、やり過ぎ)

3) 総合評価書の作成

(1) 期 間 3 年ごと (実施計画期間終了時)

(2) 作成方法

①『実績報告書』に市民アンケート結果を反映させた『総合評価書』を作成

②総合計画審議会でも『総合評価書』を審議

③総合評価書を次期実施計画へ反映

■ 総合評価

- ・ 実績報告書と市民意向調査報告書を統合
- ・ 基本計画の 45 施策の大分類を市民意向調査による満足度で評価
- ・ 実施計画 79 事業を事業費比較、数値目標比較、達成度 4 段階評価

3 第三次実施計画の概要（案）について

第一次および第二次実施計画では、以下のとおりの基本的な考え方、構成および掲載方法としておりました。

（１）実施計画策定の基本的な考え方（案）

	第三次実施計画の基本的な考え方	参考(第二次実施計画の状況)
計画期間	平成 29 年度～平成 31 年度（3 年間）	平成 26 年～平成 28 年（3 年間）
事業選定	・基本計画の体系をもとに事業の位置付けを検討 ・第二次実施計画の総合評価の結果を反映 ・その他、必要事項を考慮して事業を選定	・基本計画の体系をもとに事業を位置付け（79 事業） ・第一次実施計画の総合評価の結果を反映 ・少子高齢化の進展、生産年齢人口の減少、都市の魅力向上に向けた事業を選定
事業費（計画額）	（事業確定後に算定）	3 ヶ年合計 64,800,026 千円

（２）構成等（案）

	構成	参考 (第二次の状況)
第 1 編	第 1 章 実施計画の位置づけ 第 2 章 実施計画策定の基本的な考え方 第 3 章 数値目標等 第 4 章 実施計画の前提 第 5 章 基本計画における施策の体系 第 6 章 実施計画事業索引	
第 2 編	第 1 章 真の豊かさを感じるまち 第 1 節 健康で安心して暮らせる、地域福祉の充実したまちをつくります 1. 保健・医療 2. 子育て 3. 地域福祉 4. 障害者福祉 5. 高齢者福祉 6. 社会保障・住まい 7. スポーツ 第 2 節 豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てます 1. 子どもの教育 第 3 節 生きがいを見いだす、いきいきとした生涯学習社会をつくります 1. 生涯学習 第 4 節 誰もが安心して働くことができる環境をつくります 1. 雇用・労働 2. 消費生活 第 5 節 人権を尊重し、世界平和に貢献します 1. 人権・男女共同参画 2. 平和 第 2 章 彩り豊かな文化と芸術を育むまち 第 1 節 芸術・文化を身近に感じるまちをつくります 1. 芸術・文化 第 2 節 文化的資産や伝統文化をまちの活性化に活かします 1. 文化的資産 第 3 節 暮らしの中で「まちの文化」を育みます 1. 文化の創造	1 事業 4 事業 1 事業 2 事業 1 事業 2 事業 1 事業 4 事業 2 事業 2 事業 1 事業 2 事業 1 事業 2 事業 1 事業 2 事業 3 事業

	構成	参考 (第二次の状況)
第2編	第3章 安全で快適な魅力あるまち 第1節 安全で安心して暮らせるまちをつくります 1. 危機管理・消防 2. 治水 3. 防犯 4. 交通安全 第2節 快適な暮らしを支え、質の高い都市基盤整備を進めます 1. ユニバーサルデザイン 2. 道路・交通 3. 下水道 4. 住宅・住環境 5. 公共施設 第3節 自然、歴史、社会環境などを活かして、バランスのとれた魅力ある土地利用を図ります 1. 土地利用 2. 景観 第4節 産業を振興し、活力あるまちをつくります 1. 商工業 2. 都市農業 3. 水産業	2 事業 3 事業 1 事業 2 事業 1 事業 2 事業 5 事業 3 事業 2 事業 2 事業 3 事業 2 事業 1 事業 1 事業 1 事業
	第4章 人と自然が共生するまち 第1節 自然を大切にし、やすらぎと潤いのあるまちをつくります 1. 自然環境 2. 公園・緑地 3. 河川・水辺 第2節 環境への負荷の少ないまちをつくります 1. 地球環境 2. 生活環境 第3節 廃棄物の発生を抑制し資源循環型のまちをつくります 1. 資源循環型社会	1 事業 2 事業 1 事業 2 事業 2 事業 2 事業
	第5章 市民と行政がともに築くまち 第1節 市民と行政とのパートナーシップのもとでまちをつくります 1. 協働・市民参加 2. 情報の発信・提供 第2節 まちづくりのための新しいコミュニティをつくります 1. 地域コミュニティ・市民活動 第3節 分権時代にふさわしい行財政運営を推進します 1. 政策展開 2. 行政体制 3. 窓口・相談機能 4. 財政運営 5. 広域行政 第4節 情報通信技術を市民生活の向上に活かします 1. 情報化	1 事業 1 事業 1 事業 1 事業 1 事業 1 事業 1 事業 1 事業 1 事業
第3編	第1章 実施計画の進捗管理について	
	第2章 実施計画の評価について	

(3) 実施計画事業の掲載方法（案）

〔大分類〕（第二次基本計画における大分類及び中分類の別を表示しています。）

■実施計画事業の概要

番号 事業名 (所管)		(所管は、平成 29 年 4 月現在の組織で表示。)			
事業概要					
年度ごとの 事業内容		計 画			
		29 年度	30 年度	31 年度	
事業費（千円）					
財 源 内 訳	特 定 財 源	国庫支出金			
		県支出金			
		市債			
		その他			
	一般財源				
数値目標等					

4 審議スケジュール（案）

		総合計画関係	(参考) まち・ひと・しごと 創生総合戦略関係
27 年度	第5回	平成28年3月28日 ①諮問 ②平成28年度当初予算の報告	①総合戦略（報告）
28 年度	第1回	平成28年7月下旬 ①第二次実施計画の実績報告 ②市民意向調査の実施について	
	第2回	平成28年10月下旬 ①市民意向調査結果の報告 ②総合評価書案について ③第三次実施計画案について	
	第3回	平成28年12月下旬 ①第三次実施計画案について ②第二次実施計画事業の決算報告	
	第4回	平成29年1月下旬 ①答申 ②平成29年度当初予算の報告	①総合戦略事業の 進捗報告について